

PRESS COLLECTIVE

— AUTUMN 2017 —

collective vol.43

25th December 2017

@event space 雲州堂



edit: tawaki text: tawaki, kengomatsui, yu, Itaru Wakui design: yukiokimura.com special thanks: ind_fris

ind_fris マンタビューアー

今回がストアドライヴをしていただき
ind_fris マンタビューアーをしました。
場所は「えほんまちハイハイ
タウンの居酒屋「まもる」です。

—ind_fris 様々な作風がありますが、どのよのうな制作方法ですか？

友達から貰った Roland の TR-
626 とこうドラムマシンを使って
います。割と影の薄い機材ですが、
この中のプリセットのリズムパター
ンやパーカッションの音に入っ
ていて、そこから Elektron のシン
セや生楽器などを作って組み立て
いくことが多いです。

—ind_fris の音楽のルーツを教え
てください。

大学時代に所属していた音楽研究
会の仲間にノイズ、フォーク、ヒッ
ップなど多種多様な音楽を聴い
ている人たちがいましたね。同時期
に所属していたジャズ研にも大変な
音楽好きな先輩がいて、ロック、ファ
ンク、R&B、ブリジル音楽などを教え
てもらいました。あと、高校2年生
の時にアメリカのニュージャージー
に1年間交換留学していたのですが、
そこで経験も大きかったです。

—その話を詳しく教えてください。

留学先の高校が「ハイテクスクー
ル」という冗談みたいな名前のと
ころで、毎朝2コマ専攻科が選べた
んです。僕は音楽専攻だったので、
音楽理論や西洋音楽史を学んだり。
英語だったのにわからなかったのも多

かつたんですけど面白かったです。座
学だけでなくレコードティングの授業
もあって、デジタル・パフォーマー
という当時先進的だった DAW を
使っていました。また、ホストファ
ミリーのブラーたちがメタル野郎
で、家に音楽や動画の編集ソフトが
あつたんです。面白いから僕もやつ
ていて。その時の経験が今に活きて
います。

—留学時代はどんな音楽の影響を
受けましたか？

ホストファミリーは IRON
MAIDEN やパワーメタルが好き
だったんですが、近所に住んでい
る子がブラックメタルに詳しくつ
て、中でも ULVER というバンド
に影響を受けました。同時に FAITH
NO MORE のマイク・パット
とヘビージョーン・ゾーンと一緒に
MOONCHILD というユニットを
知つて、それがめちゃ面白かったで
す。このような経緯でジャズに興味
を持つようになって、大学入学後に
ジャズ研に入つてみたら「枯葉」な
どのスタンダードから演奏する感じ
で。後々その良さもわかるようにな
りましたが。

—ind_fris の音楽のルーツを教え
てください。

MOONCHILD というユニットを
知つて、それがめちゃ面白かったで
す。このような経緯でジャズに興味
を持つようになって、大学入学後に
ジャズ研に入つてみたら「枯葉」な
どのスタンダードから演奏する感じ
で。後々その良さもわかるようにな
りましたが。

—面白い音楽歴ですが、大学時
代の音楽制作は？

当時(2013年頃)はダブス
テップが流行つていて。自分も
MALAなどを聴いて衝撃を受けて
いました。その頃に関西ベースの
インターネットレベルのvol.4
recordsと関わるようになつて、
ソロのアップトゥップのライブをする
ようになりました。これがきっかけ

で関西の人たかと知り合つて、ようなり、
TOTETSU PTRN と呼ばれていた
一緒にやつてらるシンドウ君との付

き合いも始まりました。ただ、音作り
に関しては自分の中では統合されない
感じのまま就職してしまいました。

—転機となつたのは？

2014年頃、soundcloudを利用

して変名を作りまくるのがマーブ
ルートとしてあって、自分は変名・
匿名でダンスミュージックを作るグ

ループにいたのですが、その時に一
緒にやつていた人にハード機材を
勧められて。今まで DAW 上のバ
チャルなシンセやその操作にしつく
りきていたなかつたこともあり、実際

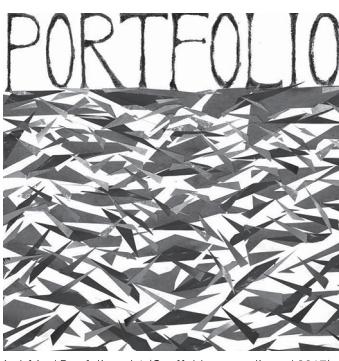
の「楽器」として扱ふ Elektron
のドラムマシンやシンセなどをやつ
と思い描いていたことができるもつ
になりました。ライブもハード導入
でスタイルが変わりました。

—レーベルを作つて、作品をフィジ
カルリリースするのはなぜですか？

ネットリリースだと小売店に商
品を卸さないじゃないですか。以前
僕は酒の小売店で働いていたので
すが、ちょっとしたブッシュが重要
な意味を持つことを実感してきました
た。僕自身、レコード屋のちょっととした
コメント文などに騙されてきた部類
で、最初なんじゃこりやつてなつた
ものが後々大好きになつたりする感
じや、MOLE MUSIC で勧めてもらつ
たの感じが好きだよ。

—この自身のレーベルからワーカー
されたカセット作品のアートワーク
が素敵です。

あれは貼り絵で留学時に学んだ手



ind_fris / Portfolio vol.1 (Scaffolder recordings / 2017)

法です。美術の授業がすゝく好きで、
基本喋らなくていいじゃないですか
か(笑)。自分の点描作品のグラフィー
ションが褒められて、それで楽ししく
なつていつたんです。日本に帰つて
からはアートワークを自作すること
はほとんどなかつたのですが、レー
ベル第一弾の作品名が「Portfolio」

だし自分でやつうと思つて。
か(笑)。自分の点描作品のグラフィー
ションが褒められて、それで楽ししく
なつていつたんです。日本に帰つて
からはアートワークを自作すること
はほとんどなかつたのですが、レー
ベル第一弾の作品名が「Portfolio」

聴くと再発見があつたりします。久
しぶりに BOARDS OF CANADA を
聴いてやつぱ良くなあと思いました。

(インタビュアー / tawaki)

僕の好きな食べ物と夏休みのお話

kengomatsu

僕の暮らす東京都江東区には「越中島(えちゅうじま)」アールところの区民アールがある。7月の2ヶ月間だけ営業する、隅田川のほとりの屋外プールだ。区のアールなので長方形の競泳プールにコースが区切られているだけのいたって地味なプールだが、50Mアールで観客席もちょっとだけあるもんな、そんなアール。入場料は2時間400円。ノックカーは10円だ(→100円の書き間違いじゃなく、10円だ)。毎年夏は一度か一度だけ一人で遊びに行くのができる平日があつて、僕は越中島アールに行くことに決めてる。

電動マッチャツに乗って出かけた。近所の「アーバー」と「ショッピングモール」のアーチホールでケンタッキーを食べる。自分的にチキンフィレサンドはフォーエバークラシックなのだが、まだ子供が2歳ということもあり、我が家ではファーストフードの類をあまり食べさせない方針なので、家族の休日にはまず食べられない。ちなみに余談に次ぐ余談で恐縮だが、ケンタッキーのボテムはあまり好みじゃない。ボトムはマクドナルド派だ。細くてサクッととして塩辛いアレが好みだ。ちなみに飲み物は

は「コーラだ」。世界一クオリティの安定した飲み物だと思へ。ちなみに毎週金曜日の夜には、ポテチとコーラを買って帰るのが僕の週末のやせやかな楽しみなのだ。ちなみにアイスは毎晩買って帰る。

平日昼間の越中島アールはおつねやんだのが多い。だいたい1時間がもうちょいと過りますのだけど、半分以上の時間は学校にあるようなアーチホールサイドのコンクリートの上に寝て過ごす。暑くて最高だ。なんといつか地味で洒落てもいき夏の過ぎの方だが、400円でこんなに幸せになれる。帰り道には「ニースルップ」寄つてソーフトクリームを買へ。去年はベルギーチョコソーフトムラカシがうまかったのだが今年はなくて巨峰ソーフトだった。

真夏の太陽の下、一シヤツ短パンで電動チャリをいく。BGMはカーネーションの「1~2のミラクルカマー」(→96年・日本コロムビア)と決めていて毎年同じだ。この粘り気味のグルーヴはネオソウルを思わせるし、今こそ聴かれるサウンディングはなかなか思つ。日本の真夏の街気感。「今日はずいぶんマジであつて」。あとアールに行くから「赴路アール」(→95年・同)。いずれもなんだか冴えない男の夏休みってかんじのBGMで似つかわしい。

家に帰つて、コーラを飲んで昼寝をしたい、わの保育園にお迎えに行く時間だ。夏休みは終わり毎日暮らすことになる。

水泳・茶割り・ 「ナ・ハ・ナ・ホー・シ・ツク

yu

今年の夏は自分で音楽的な変化を迎えた季節だった。7月に開催したUNITY by Compfunk Recordsで様々な「ナ・ハ・ナ・ホー・シ・ツク」バーベガクロスする光景が素晴らしく、川沿いの景色が刻々と変化していく借景も手伝つて、素敵な夏の思い出になった。

また、体の調律の意味合いで水泳を久しぶりに再開してみた。クロールを楽なフォームで泳げるようになるとラックス効果は格段まかつたのだが今年はなくて巨峰ソーフトだった。

峰ソーフトだつた。2017年はジャズ100年とさうが、はたつて珍らかにかかる数多くのジャズショーカ。jazz100th.comでは「1917年にホリグナル・トキシーラ・ム・ジャズ・バム」が初めて商業用レコードを録音したことが起源となり、つまりレコード音楽としてのジャズが100年だ。

命以降、キューバ人からバトンを受け継いだ「ナ・ハ・ナ・ホー・シ・ツク」の音楽の変遷、やはりはサルソブル、ハウスに掛ねあひのダンス「ナ・ハ・ナ・ホー・シ・ツク」に思いをはせることが最高にフィットした。

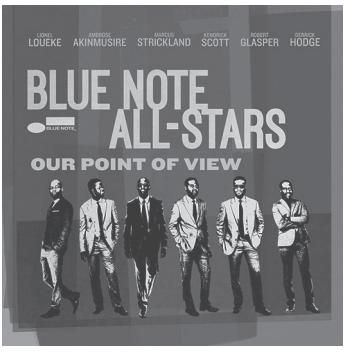
中でもCal Tjader & Shoshanaは暑さにやられた体にキュットと冷えた茶割りと共に抜群の清涼感をもたらした。小林麻美の「恋なんてかんたん」なども régimeトロピカル趣味がスマースでよく聴いていた。夏の前半あたりは薄味ラテン感を楽しんでいたのだが、YouTubeで見た記録映画「Our Latin Thing」のシーンで自分の心の中の「ナ・ハ・ナ・ホー・シ・ツク」が生まれてみるのだ。

加速した。人種も様々な聴衆の中には、男女で踊る者、女同士で踊る者、一人で踊る者、歌と一緒に踊る者、一人で踊る者、肩車された状態で踊る者、赤ん坊など熱気に満ちた人々の音みたいだ。

やるじーの動画にも登場した男前 Ismael Miranda の「Me Voy Ahora」や Joe Claussell がナルカラッショを生かしながら演技を中心構築した Joaquin Boriqua Version が最高ではないか。そのものっぽりを収録した12インチをおススメしたいところだが、似たヴァージョンが収録された『Hammock House Africa Caribe』は是非聴いてもらいたい。Eddie Palmieri や Mongo Santamaria からアフリカへの凹凸による楽曲を Joe がナイスコ・ラックスしていふ名作である。

サルサを紐解けば、キューバ革命以来、キューバ人がバトンを受け継いだ「ナ・ハ・ナ・ホー・シ・ツク」に思ひをはせることが可能である。この曲を出れる音楽の変遷、やはりはサルソブル、ハウスに掛ねあひのダンス祥のクンビア、西インド諸島マルチニークで生まれたスク、ワルグアイのカンディンベなど、様々な音楽のジャンルがあり、これらはラテン音楽には、コロンビア発祥のクンビア、西インド諸島マルチニークで生まれたスク、ワルグアイのカンディンベなど、様々な音楽のジャンルがあり、これらはワズモのアルバムを、過去に固執するのではなく未来に向かってきた Blue Note 現社長ダン・ウォズモのアルバムを、過去に信満々に語つてこます。秋の夜長のお供にいいのか。

Blue Note All Stars / Our Point Of View



がける Blue Note 現社長ダン・ウォズモのアルバムを、過去に固執するのではなく未来に向かってきた Blue Note 現社長ダン・ウォズモのアルバムを、過去に信満々に語つてこます。秋の夜長のお供にいいのか。

(Itaru Wakui)